

「進路を考える」に向けて

進路指導主事 細井哲明

1学期の終了を迎えます。感染症拡大防止対策もあり、様々なスケジュールの変更もありました。保護者の皆様におかれましては、変更之际し御理解と御協力をいただきありがとうございました。児童生徒が笑顔で学校生活を過ごしていることは何よりも嬉しく思うことであり、日常生活の大切さを痛感しています。

このような状況でも卒業後(進路)のことを考えることは必要です。卒業後の生活を考える上で、次の5つがどう関わるかが大切であると感じています。それは、①「本人の取組や努力」、②「保護者の理解と関わり」、③「教師の日常の指導や環境づくり」、④「地域の支援者の配慮と支援」、⑤「社会状況の巡り合わせ」です。

その中でも、⑤「社会状況の巡り合わせ」は想像しにくい内容かもしれません。「社会状況の巡り合わせ」とは、本人を取り巻く人々が直接関わる内容というよりも、国会(法律の制定)や経済状況(不況など)、自然災害(地震・水害など)、福祉事業所・企業の経営状態(受入れ可能か)等から影響されることです。過去にも中越大地震や障害者自立支援法(障害者総合支援法の前身)の制定などから卒業後の生活に影響を与えることがありました。今回の世界的なコロナ禍も同様と思われるます。

この⑤「社会状況の巡り合わせ」は「どうしようもない」ことではありますが、あきらめて“誰かがなんとかしてくれる”のを待てば良いわけではありません。状況を把握し、情報を集め、対応策を考え、求められる力を準備していくことで、進路を開いていくことができます。

今回のコロナ禍で児童・生徒の日常生活が変わり、不安と困難をかかえている人もいます。一方、児童・生徒は、今回の実習のように求められる力に答え、成長し、社会に適応しようとしています。マスクの着用や手指消毒を実践すること、求められる検温に応じること、毎日元気に活動できることが大切と感じること、ICT機器を授業で活用していることは、「社会に適応」した姿といえます。

今回のような「社会状況の巡り合わせ」に適応し、進路を切り開いていくには、そのほかの4つも大切になります。①「本人の取組や努力」はもちろんのこと、②「保護者の理解や支援」、④「地域の支援者の配慮と支援」は、皆様の御理解と御支援に感謝いたします。我々も③「教師の日常の指導や環境づくり」をアップデートし、毎日の学校生活をより充実したものにしていきたいと思います。

将来の生活や希望する進路実現に向けて、5つのことを上手く連携し、子どもたちの「進路を考える」ことにつなげていけたら幸いです。今後ともよろしく願いいたします。



< 前期職業実習について >

高等部では6/28～7/16の日程で、職業実習(現場実習・校内実習)を行いました。

保護者の皆様からは事前挨拶や持ち物の準備、毎日の実習ノートの記入等、御支援いただきありがとうございました。

コロナ禍の影響で、予定を延期して実施しましたが、昨年度の中止の経験があったこともあり3年生が実習に取り組もうとする気持ちは特に強く、一生懸命な取組を見ることができました。全体的に3年生はコロナ禍の影響を大きく受けた世代となります。前述した「社会状況の巡り合わせ」が直接影響している世代と言えます。しかし、生徒たちは泣き言を言うわけではなく「実習は大切な機会」ととらえ進路実現に求められる力を準備し、取り組んでいる様に感じました。この成果を日常に汎化させ、「進路を考える」ことに繋げてほしいと思います。

困難な社会状況の中、当校のスケジュール変更にも応じ、実習を受け入れていただいた事業所の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。生徒たちの学びの場を提供いただき、本当にありがとうございました。

< 実習に御協力いただいた事業所の皆様 >

(株)三国東洋 (有)吾妻家 (株)マルイ堀之内店★
 (株)津山商店★ (株)小玉屋★ (株)大和環境
 ヤマト運輸(株)長岡主管支店六日町営業所★
 なないろ やいろの里 わかあゆ社
 湯之谷工芸 堀之内工芸 ひろかみ工芸
 またたびの家 あめのちはれ★ ★は新規協力事業所

今回の実習は、季節柄どしゃ降りや雷雨、暑さの中の仕事であったり、来客に合わせての昼休みという臨機応変さを求められたりしました。通勤についても徒歩や乗合タクシー、送迎車、路線バス、JRなど様々な方法で実施しました。生徒それぞれの課題に合わせて行いましたが、仕事の内容だけでなく、勤務環境についてもいろいろな経験ができたようです。

学校ではできない経験を通して、現場を知り、社会を学ぶ機会になったと思います。次の実習ではどんな経験をするべきでしょうか。「経験すべき実習」を考えると同時に、現場で活かせる力をつけ準備をしてもらいたいと思います。

< 8月の進路教室について >

6月に御案内させていただいた進路教室について再度お知らせいたします。参加申込みをしていただいた皆様ありがとうございます。時間等、再度御確認いただきたいと思います。

テーマ 「障害基礎年金」について
 日時 令和3年8月20日(金) 14:00～15:00
 会場 県立小出特別支援学校
 講師 日本年金機構長岡年金事務所職員
 実施形式 講師による講演・参加者数に合わせた分散参加(対面式・非対面式の併用)
 概要 日本年金機構長岡年金事務所より講師が来校し、障害基礎年金についてお話いただきます。卒業後の大切な収入についてのお話になります。基本的な内容や受給要件、手続の流れなどが話題になります。



今回は、申込をされた方だけの参加となります。

都市部では、コロナウィルスの感染拡大の傾向もあるようです。

地域の感染状況によっては、延期や中止もあることをあらかじめ御了解ください。お申込みいただいた皆様に個別に連絡いたします。

不明な点は、担当者まで御連絡ください。

< 後期の進路教室について >

今後の進路教室について、下記のように計画しています。

後 期	10月15日(金)13:00～14:30	・進路セミナー／実習激励会 ～卒業生からお話を聞く～②
	11月5日(金)14:00～15:00	・実習の様子(後期実習を写真や映像で振り返る) ・フリートーク(参加者の皆様で話題にしたい内容)
	1月14日(金)14:00～15:00	・企業就労について ・進路先決定までの手続き

地域の感染状況によっては中止の場合もあります。あらかじめ御了承ください。現場実習の様子や社会で求められる力についてお話する機会がなかなか確保できていません。また地域の事業所について題材にする機会もなかなかできていない状況です。今後検討していきたいと考えています。

興味をお持ちの保護者の方からは個別の御相談をいただき、お子さんの実態に即してお話しさせていただきます。気になることがありましたら、是非御相談ください。

よろしく願いいたします。

<かみゆるの進路教室>

『将来を考えるお話』

～ライフステージごとに積みあげるキャリアについて～

「卒業したら社会人」そんな言葉を高等部ではよく使います。高等部を卒業するまでに何をしたら良いのでしょうか？どんな取組を積みあげていったら良いのでしょうか？

特別な配慮を必要とする生徒は実態や成長の度合は個々に違いがあるため、一律したやり方があるわけではありません。しかしライフステージごとに目安になるものは見えてきます。その目安から個々の実態に合わせて調整して取り組んでいくことが求められます。

小学部から考えていくと、社会に合わせて取り組む上では、自分のことや身の回りのことができることに取り組むことが必要です。それは小学部のような早い時期から始めると良いです。人格の形成(自分を好きになる・人に好まれる、嫌な気持ちにさせない)、基本的な生活習慣の確立(健康、身辺自立、挨拶、聞く態度、手伝い等)、感覚の形成(生活のスキルを中心とした、身体の動き・読む・書く・話す・聞く・理解する・マッチング・コミュニケーション等)、活動への意欲、友達との関わり、安全や善悪の意識など長い期間をかけて確立していくものなので、早くから取り組むことで成果があります。自立の力につながる取組と言えます。

中学部では、高等部の現場での学習へ向けた下地作りの取組が必要です。そのためには、小学部で身に付けた内容の定着と主体的な活用が求められます。身に付けたことを集団生活や家庭生活の中で自ら活用していく、集団や家庭の中でのルールを自ら守っていく。小学部でも集団生活は行われますが、中学部からは座学の活動時間が長くなったり、大勢の中で活動したりと環境の変化が出てきます。また二次性徴の時期でもあり、自我や自己主張も出てくる時期です。社会生活に合わせた自律の基礎の取組とも言えます。

「卒業したら社会人」の直前となる高等部では、社会人の生活に向けて「逆算の考え」も必要になります。3年生では希望する進路先への挑戦、社会で続けるけ気持ちの育成が必要です。2年生では進路選択に向けた得意・不得意を理解した適性の把握、1年生では現場(社会)で必要とされる基礎的な力の定着と現場での実践を始めていくことが求められます。それらを積み上げることで「卒業したら社会人」へ向かっていくこととなります。

子どもたちが成長する上で、ライフステージに合わせてどんなキャリアを積んでいくのかを目安として記載しました。しかし、子どもたちは個々に特性や発達状況が異なります。そのため取り組む内容や目指す姿、取り組むための手立ては個々に異なります。参考にしていただき、それぞれの取組を考えていければ幸いです。

「え！？そんなことやってないよ！！」と思う内容があったかもしれません。お子さんのことを考え、できる内容であれば“気付いたときが始め時”です。学級担任と相談し、連携しながら取り組んでもらえたらと思います。



今まで発行した進路だよりは当校のホームページに掲載しています。
是非、御覧ください。

URL <http://www.koide-tk.nein.ed.jp/course.html>

新潟県立小出特別支援学校 進路指導部(細井哲明)
 TEL 025-792-5412 FAX 025-792-9270
 お問い合わせ等ございましたら、進路指導部まで御連絡ください。

